

目次

刊行の辞

テキスト刊行の趣旨

はじめに

第1章 人間の尊厳と自立————— 1

第1節 人間理解と尊厳…………… 3

1 人間の多面的理解 3

はじめに 介護者の役割 関わり合いを育む介護技術の倫理性
介護を受けることの基底 介護現場における水平的関係性

2 人間の尊厳 25

「尊厳」という考え方 要介護者を尊重することの意味 「尊厳」
を支える関係性 介護における「尊厳」の成立基盤

第2節 介護における自立と尊厳の保持…………… 47

はじめに 47

1 介護における尊厳の保持 48

明治時代の介護 平成時代の介護

2 介護と自立・自律 52

障害者自立の実際 自立の考え方 社会福祉制度における自立

3 人間の尊厳と自立の実践者：糸賀一雄 63

戦後初の児童福祉施設の誕生 糸賀一雄の思想 糸賀が源流と
なっている活動

おわりに 68

第2章 人間関係とコミュニケーション————— 71

第1節 人間関係の形成…………… 73

1 人間関係とコミュニケーション 73

2 双方向性をもつコミュニケーション 74

コミュニケーションとは 言語的コミュニケーションと非言語的
コミュニケーション

3 距離のとり方 76

第2節 コミュニケーションの基礎…………… 78

1	自分を知ることの大切さ	78
	自己覚知・自己開示・自己呈示	自己理解の方法 自己表現
2	他者理解の大切さ	80
	受容 傾聴 共感	
3	対人援助の実際	82
	対人援助の原則	対人援助の方法 要介護者理解を深める

第3章 社会の理解Ⅰ：家族・地域 89

第1節 現代家族とは何か 91

	はじめに	91
1	現代家族の特徴	92
	定義	新しい家族の特徴 背景 家族と世帯
2	家族の機能と役割の変化	99
3	ライフサイクルの変化	101
	「家」制度に基づく家族	新憲法・新民法に基づく家族 長寿化と長い老後期間
4	扶養と介護	103
	親の扶養	だれが介護をしているか

第2節 変貌する地域社会 109

	はじめに	109
1	生活の場としての地域	111
2	一人暮らし高齢者の生活	112
3	高齢者の社会的孤立がもたらす問題	114
	買い物難民	ねらわれる高齢者 孤独死
4	地域における「つながり」の再構築	117
	ソーシャル・インクルージョン	地域における「新たな支え合い」
	孤立死ゼロを目指して	
5	社会福祉を実施する民間の機関や団体	120
	社会福祉協議会	民生委員 生協・農協 NPO 法人 ボランティア 住民自治組織
6	当事者組織	124

第4章 社会の理解Ⅱ：社会保障制度 127

第1節 わが国の社会保障制度の発展 129

	はじめに	129
1	社会保障とは何か	130

社会保障の根源 社会保障の目的と機能 私たちの生活と社会保障

2 戦後日本における社会保障のおもな流れ 137

戦後と生活困窮者の増大 国民皆保険・皆年金体制の実現 オイルショックと制度の見直し 少子高齢社会への対応 社会福祉基礎構造改革と社会保障

3 社会保障制度の法体系 142

所得保障 医療保障 介護保障 社会福祉サービス 公的扶助

4 社会保障と財政 154

第2節 介護保険法 159

1 介護保険制度の背景と目的 159

人口の高齢化と介護保険制度 介護保険制度以前の高齢者介護 介護保険法の制定

2 介護保険制度のしくみ 170

社会保険方式の介護保険制度 サービス利用の流れ

3 介護保険サービスの種類と特徴 181

保険給付の種類 居宅介護支援「ケアマネジメント」 介護予防地域支援事業

4 介護保険制度の組織と専門職の役割 192

国の役割 都道府県の役割 市町村の役割 組織 専門職等

第3節 障害者総合支援法 203

はじめに 203

1 障害者総合支援法における福祉サービス体系 207

自立支援給付 地域生活支援事業

2 申請から支給決定までの手続き 215

申請 一次判定 二次判定 支給要否決定 受給者証の交付 不服審査申立

3 利用者負担 218

おわりに 218

第4節 介護実践に関わる諸制度 221

はじめに 221

1 個人の権利を守る制度 222

日常生活自立支援事業 成年後見制度 苦情解決制度 第三者評価制度 個人情報保護制度 消費者保護制度 高齢者虐待防止法

2	保健医療制度	236
	医療保険制度	その他の保健医療に関する施策
3	公的年金制度	250
	公的年金制度の特徴	公的年金制度の体系

確認コーナー解答

索引

◆本書の特徴と使い方◆

○学習を深めるために、節ごとに次のものを掲載しています。

【節頭】 学習目標、キーワード

【節末】 確認コーナー（穴埋め式練習問題）

引用・参考文献（☆は、学習を深めるために最適な文献）

学習目標で学習のポイントを提示しています。キーワードを本文中で確認しながら、目標に沿って学習を進めてください。

確認コーナーでは、学習目標を意識した問題を用意しています。理解の不足している箇所を確認し、くり返し学習してください。確認コーナーの解答は、巻末に掲載しています。

○下記のマークを用いて本文の補足をしています。

* 用語解説など本文の補足説明

⇒ 本巻、本テキストでの相互参照項目

例：⇒ 第4章第1節 わが国の社会保障制度の発展（××頁）

□ 文献参照 例：□ ①（←節末の文献番号を示す）××頁

! 学習を深めるためのポイントや文献紹介

本テキストは、体系性を重視しています。関連する他の領域を相互に参照し、振り返って学んでください。